

令和4年度第2次補正
探究的学習関連サービス等利活用促進事業費補助金

探究的な学び支援 補助金2023

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社 教育ネット

【サービス名称】

- ・らっこたんPro
- ・お助けネットクラウド・ネクスト

【サービスの機能分類】

- ・区分A-1 メインサービス
- ・区分C 情報活用能力育成サービス

2024年1月



探究的な学びに必要な情報活用能力を育成

らっこたん Pro



OTASUKE-NET Cloud NEXT!
お助けネットクラウドネクスト

探究的な学びに必要な情報活用能力を育成

らっこたん Pro



学習指導要領に準拠した情報活用能力を
以下のコンテンツで学習できます。

タイピング練習 (技能の習得)



クイズ (知識の習得)



体験型教材 (知識の活用)



■探究学習等サービスの概要

OTASUKE-NET Cloud NEXT!
お助けネットクラウドネクスト

選択式ノベルで
情報の基本を学習！

動画で
さまざまな場面を体験！

自分のネット依存度を
チェックできる！

自分事として
体験できる
情報モラル学習

としょしつ

はじめに

きょうしつ

動画(どうが)

ほけんしつ

相談する

じゅんぴしつ

ネット標語

がっこう そと

学校の外

いろんな権利

あきべや

ネット妖怪

活用のために
必要な情報モラル
を学ぶことができます。
提示教材としても、
自主学习としても活
用できます。

オリジナルの
ネット標語を投稿

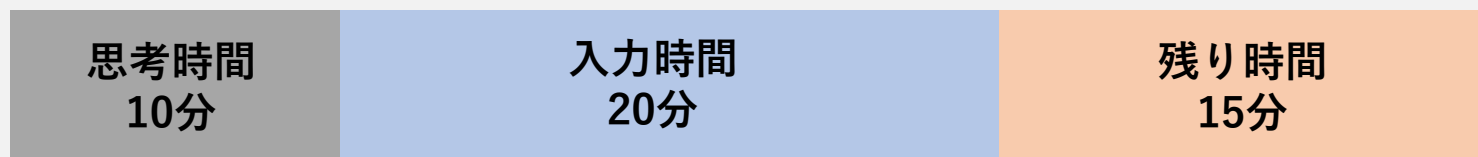
肖像権など、学校外の
権利や法律を学習

オリジナルの
ネット妖怪を考えよう

タイピングを始めとした基本が身についているかで
探究活動に使える時間が大きく変わってしまう

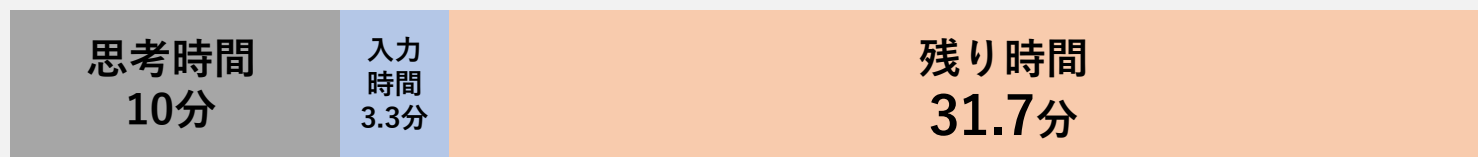
授業で200文字の文章を書かせる場合(思考時間を10分とする)

1分間あたりの入力文字数が**10文字**の場合



入力時間が
授業の半分を
占めてしまう

1分間あたりの入力文字数が**60文字**の場合



より
探究的な学びが
可能に

小・中・高校で、個人差なく全員が基本を身につけるために
子どもたちが**スキマ時間で主体的に**活用できるツールが必要

先生の手間なく、子どもたちが主体的に利用するためのサポートを実施

スタートキットでの支援

教員がA3一枚で概要を把握できるマニュアルと配布するだけで、子どもが1人でツールを利用できるスタートキットを配布

タイピング大会の実施

子どもがやる気を継続させ全校で意識統一を行うためのタイピング大会を実施



自治体数 : 25自治体

学校数 : 374校

児童生徒数 : 121,197人

活用効果①：教員の意識統一

ディスカッションを行いながら
 探究的な学びに必要な情報活用能力を確認し
 活用の動機づけ及び活用方法を伝える
教職員研修の実施

研修の流れ

ディスカッション	日々授業を行う上での 情報活用能力の必要性を話し合う
ツール概要	導入ツールについての説明 スキル調査結果等の共有
体験	実際にログインし子どもたちが 利用する画面を体験

情報活用能力・タイピング

課題感 個人差のスキル差が大きい

令和4年度に実施したタイピングスキル調査の結果から
 学年が上がるに連れて、個人差が大きくなることがわかりました。

Copyright (C) 2023 Edu-net Co., Ltd.

らっこたんにログイン

<https://rakkotan.com>

それぞれに配布された
アカウントで
ログインしてください。

Copyright (C) 2023 Edu-net Co., Ltd. All Rights Reserved.

日本語の入力文字数

学年	20~60文字未満	60文字~100文字未満	100文字以上
1年生	70.3%	9.0%	3.2%
2年生	32.2%	8.8%	6.3%
3年生	33.0%	8.9%	3.1%

探究的な学びに必要な情報活用能力を育成

らっこたん Pro

OTASUKE-NET Cloud NEXT!
お助けネットクラウドネクスト

活用効果②：全校での取り組み

従来

教員の意識の差によって
利用する子どもと、利用していない子どもが
発生してしまう

今回

- ・ 教員向け資料
- ・ 子ども向け教材

をそれぞれ紙で配布したことにより、全学年での利用が促進された。



探究的な学びに必要な情報活用能力を育成

らっこたん Pro

OTASUKE-NET Cloud NEXT!

お助けネットクラウドネクスト

活用効果③：どのように生成AIと向き合うかを考える

授業冒頭に**生成AIの活用**に触れ
インターネット同様モラルをもって利用する
ことの大切さを考えさせる

授業の流れ	
導入	AIで描いたイラストと人が描いたイラストを比較し、AI技術の進歩と活用方法を考える
展開	インターネットの仕組みやSNSの特徴を考え、ワークシopp形式で自分の考えをまとめる
まとめ	AI含め、インターネット技術をどのように使っていきたいか考える

① ②
正解は③

③ ④

AIの仕組み

最後に
これからインターネットを
どんな風に使っていきたい
でしょうか？

ワークシートに記入

記入をしたらお家の人にも見てもらおう

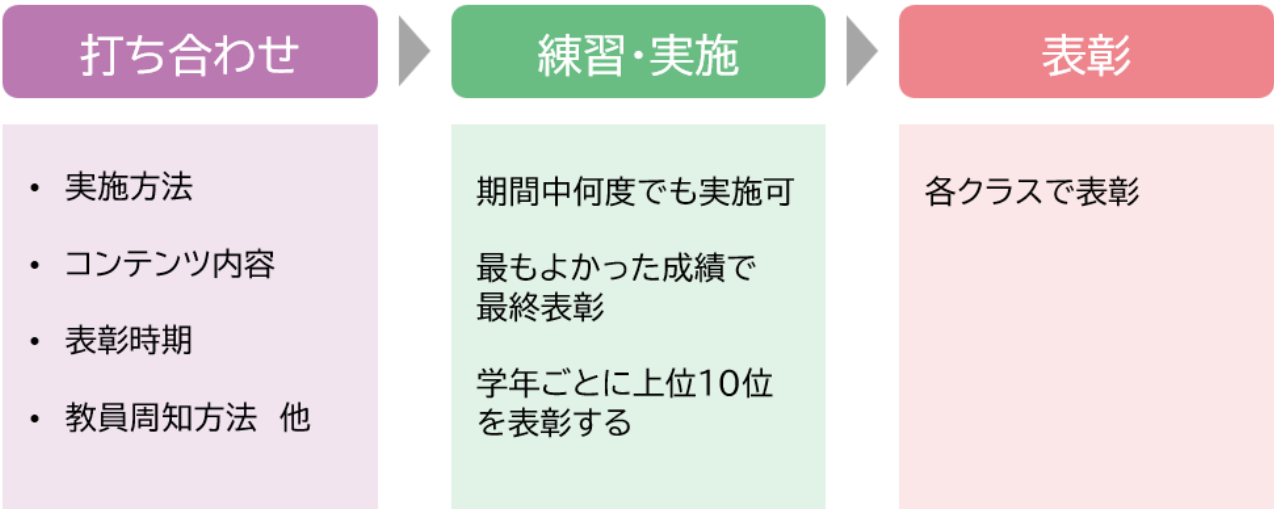
今ある
色々な情報をあわせると
きっとこんな感じ

OTASUKE-NET Cloud NEXT!
お助けネットクラウドネクスト

■探究学習等サービス活用による成果

活用効果④：子どもたちの練習意欲の喚起

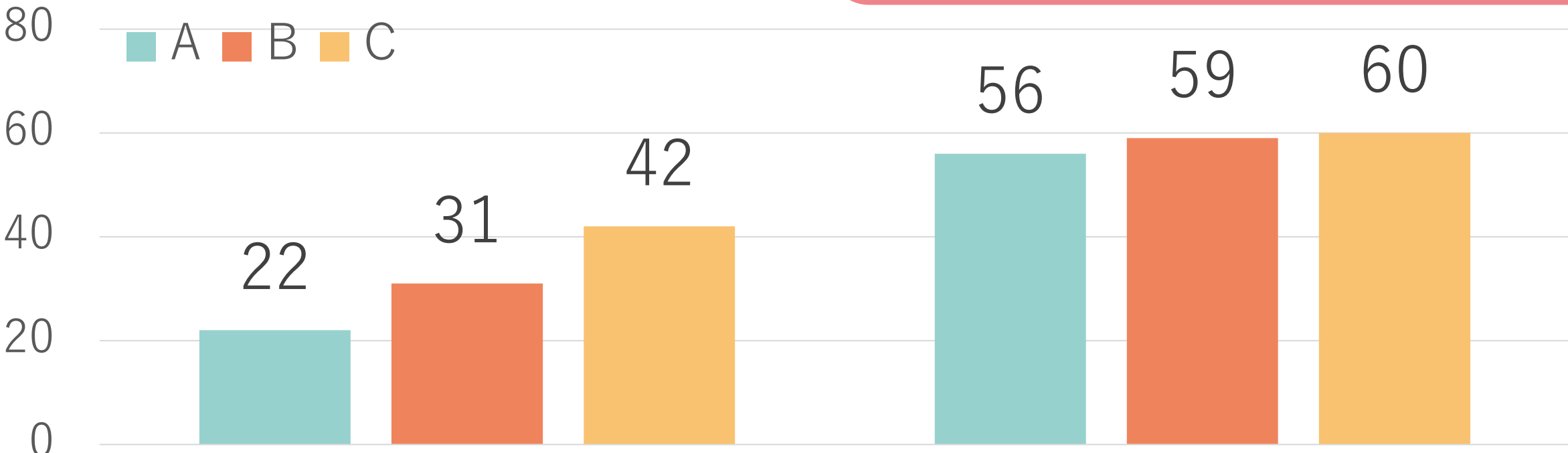
先生の手間がかからない形で
 全校でのタイピング大会を実施することで
 子どもたちの練習意欲の喚起及び、教員への
 実施啓発を行った。



活用効果⑤：スキルの向上

全校で練習を行うことで
一定期間で個人差を
埋めることができた

子どもたちの入力文字数の変化



練習当初

実施期間後



課題① タッチタイピングの定着

課題

- 早く入力することに注力し、正しい指使いが身につかない
- 初期指導に、先生の指導が必要になる

改善案

- サービスUIを見直すことで、自然と正しい指使いが身につく導線を作る
- 初期指導のサポート教材を増やすことで、どんな先生も指導可能とする。

課題② 先生・保護者を始めとする大人への周知

課題

- ツールを使わせることで子どもにどんな効果があるのか想像しにくい
- 教員の温度差によって、利用率が変わってしまう

改善案

- 保護者向けにも、子どもたちの成長の様子がわかるものをフィードバックする
- 簡単に利用できることや利用することでの効果をよりわかりやすく周知する

- 面白いアイテムがうれしい
- さっきやった時より上手になっているのがわかる
- 友達と一緒にランキングで競ってる
- ランキングで1位になれた
- 家に帰ってからもやりたい



- ローマ字未就学の低学年から取り組むことができるのがよかった
- なにより楽しんでやっている様子が見られていい
- 教職員が指導できないことを教えてくれた
- 低学年の担任になったことがない教員の代わりに伝えてくれてよかった



会社名 株式会社 教育ネット
本社所在地 〒224-0032
神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央24-4第6セキビル 502
TEL 045-530-9401
FAX 045-530-9402
代表取締役 大笹いづみ
設立 2014年6月6日
会社HP <https://edu-net.co.jp/>

らっこたん問い合わせ先：rakkotan@edu-net.co.jp

